

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

恩納村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
パ	細				H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	①		観光地危険生物駆除事業(ハブ駆除事業)	H24 ~ H33	外来種のタイワンハブやタイワンスジオが観光客の多く訪れる真栄田岬や国頭方西海道(歴史の道)等の周辺において多く出没しているため、その周辺を重点区域とし積極的に駆除し、地域住民や観光客の咬症被害防止を図る。	・ハブ生息地へのハブ捕獲器設置数:400箇所	・捕獲器設置周辺における咬傷被害件数:0件	【今後のスケジュール】 ・仲泊・前兼久地区の調査 ・拡散防止の強化 ・宇加地地区の強化	【H30成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
	②		恩納村観光誘客・おもてなし推進事業	H24 ~ H33	各種イベントやプロモーション活動を実施することで、観光誘客を図る。また村の観光案内所である文化情報センターへ観光案内人の配置を行うことで、利便性を確保する。	・観光誘客プロモーションの実施 ・イベントの開催 ・観光案内人の配置 ・リゾートウェディング誘客強化 ・村民のおもてなしの心の啓蒙	・宿泊客数:276万人 ・イベント来場者数:15,000人以上 ・観光案内所の利用により村内観光の利便性が確保されたかについて利用者を対象としたアンケートを実施:80%以上 アンケート結果を含め、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 観光誘客プロモーション・イベント活動をはじめ、地域資源を活用したPR活動及び観光案内人の育成等を継続して行う。	【H30成果目標の考え方】 ・宿泊者数 過去の実績を勘案して設定した。 ・イベント来場者数 過去の実績を勘案して設定した。 ・案内所利用者のうち大多数が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
	⑥		万座毛周辺活性化施設整備事業	H24 ~ H31	万座毛へ来訪する観光客の増加を図るため、休憩所や地域の特産品販売所、展望台等の機能を有した観光拠点施設及び駐車場を整備する。今年度は駐車場整備工事、建築及び外構工事を行う。	・駐車場整備工事の実施(面積:16,744㎡) ・観光拠点施設の建築及び外構工事の実施(建築面積:1,963㎡)	・第1駐車場(路盤工まで)の完成 ・第2駐車場の完成 ・建築工事の進捗10%	【H32成果目標】 施設の年間利用者数 102万人以上 【今後のスケジュール】 平成31年度 建築、外構工事、第1駐車場(舗装工)の完成 平成32年度 供用開始	【H32成果目標の考え方】 過去の万座毛来訪者実績及び村内観光施設における利用者増加率を勘案して設定した。
	⑦		あしびなー施設整備事業	H29 ~ H31	地域の伝統芸能の保存継承及び観光誘客を図るため、観光交流施設を整備する。今年度は建築基本設計を行う。	・建築基本設計の実施	・基本設計の完了	【H32成果目標】 施設の年間利用者 1,680人以上 【今後のスケジュール】 平成31年度 建築工事 平成32年度 供用開始	【H32成果目標の考え方】 施設利用計画に基づく利用者数を成果目標とした。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

恩納村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考		
事業番号	細			H30事業内容	H30活動目標(指標)		H30成果目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
2	①	恩納通信所跡地活用基盤整備事業	H28 ～ H31	恩納通信所跡地において、跡地の活用促進のため浸水被害の防止を図るべく、基盤整備を実施する。今年度は排水路の整備を行う。	・排水路河口部の排水路整備工事の実施	・排水路河口部(240m)の完成	【H31成果目標】 台風時等の被害件数(排水路の氾濫):0件  【今後のスケジュール】 31年度:排水路中流部から上流部(740m)の整備工事実施	【H31成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	①	恩納村国際交流人材育成事業	H29 ～ H33	移住に関する歴史の伝承や村出身子弟等(ウンナンチュ)との絆を深めるとともに、国際交流の促進、諸外国との懸け橋となる人材を育成するため、研修生の派遣及び受入を実施する。	研修生の派遣及び受入を実施 派遣 2人 受入 2人	・受け入れた研修生が、沖縄の文化や歴史により興味を持ったかについてのアンケートを実施:80%以上 アンケート結果を含め、本事業のあり方について検証する。  ・派遣した研修生が、海外の子弟と交流することによって派遣先の文化や歴史に興味を持ったかについてのアンケートを実施:80%以上 アンケート結果を含め、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 ・派遣予定数 31年度～H33年度:各年度2名  ・研修生受入予定数 31年度～H33年度:各年度2名	【H30成果目標の考え方】 研修生のうち大多数が沖縄または派遣先の文化や歴史に興味を持ったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
4	①	特別支援教育支援員配置事業	H29 ～ H33	恩納村立幼小中学校に在籍する何らかの支援を要する児童生徒に対し支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を配置する。	・特別支援教育支援員充足率 100% 特別支援教育支援員配置数  幼稚園:4人 小学校:12人 中学校:6人	・特別支援員の対応について、保護者等を対象にアンケートを実施: 学校生活や学習上の困難の改善が図られた等の肯定的な回答80%以上 アンケート結果を含め、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 特別支援教育支援員を今後も継続的に配置し、支援を必要とする児童生徒の学習環境の充実に努め、学校教育における機会均等を図る。	【H30成果目標の考え方】 支援員の対応への満足度について、アンケートを実施し、児童生徒の大多数が困難の改善が図られたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。